

2020 年度 臨時教育委員会議事録

日 時 2020 年 12 月 15 日(火) 13:00 ~ 17:00

会 場 日本代協 会議室(Web開催)

出席者 石川委員長

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
北海道	伊藤	北東北	藤本	南東北	赤城	上信越	古瀬
東関東	井上	南関東	丹野	東京	雨宮	東海	八木
北陸	中村	近畿	谷口	阪神	山本	東中国	藤原
西中国	近藤	四国	渡部	九州北	甲山	九州南	徳丸

事務局:小田島副会長、小見常務、小峯部長

(配付資料)

- (資料1 - 1) 合同運営会議(1116) 議事メモ
 - (資料1 - 2) 第 1 回セミナーのモニタリング状況について
 - (資料1 - 3) 2021 年度コンサル教材作成スケジュール
 - (資料1 - 4) 認定授与式代替メール
 - (資料1 - 5) 認定バッジの販売個数推移(10 月 31 日現在)
 - (資料1 - 6) トータルプランナー認定バッジ申込書
 - (資料1 - 7) TP 認定バッジ団体注文フロー
 - (資料1 - 8) 損害保険大学課程各コースの認定状況等について
 - (資料1 - 9) 損保 TP 認定検索サイト搭載数
 - (資料2 - 1) 第 1 回セミナー日程
 - (資料2 - 2) 第 2 回セミナー日程
 - (資料2 - 3) 2020 年度セミナー実施状況
 - (資料2 - 4) コンサルコース感染防止策基準
 - (資料2 - 5) 新型コロナウイルス セミナー運営
 - (資料2 - 6) 別紙感染状況ステージ ~
 - (資料2 - 7) 科目 3 の事前準備と当日の流れ
 - (資料2 - 8) 貸出用 ipad セッティング方法
 - (資料2 - 9) 貸出用 ipad 操作方法
 - (資料2 - 10) 第 1 回進行表
 - (資料2 - 11) セミナー開催のお知らせ(追記)
 - (資料2 - 12) セミナー開催について(決定事項に対する実施事項)
 - (資料2 - 13) 損保大学課程コンサルティングコースセミナーの Web 化検討資料
 - (資料3 - 1) 受講勸奨の積極的推進
 - (資料3 - 2) 受講申込受付開始のご案内および受講勸奨の積極的推進のお願い
 - (資料3 - 3) 受講申込状況(12/11)
 - (資料4) テキストカリキュラム PT レジユメ
 - (資料5) 日本代協アカデミー集計レポート(1126)
 - (資料6) アカデミー推進 PT レジユメ
 - (資料7) アカデミー教育コンテンツ PT レジユメ
- 当日追加資料
- ・受講申込状況(12/15)および申込状況(昨年比)
 - ・感染状況の指標および各都道府県の状況

議 事

(進行) 石川委員長 (書記) 小峯部長

1. 議事録作成者の指名、出席者の確認

石川委員長、教育委員16名、小田島副会長、事務局：小見常務、小峯部長

2. 石川委員長挨拶

コンサルティングコースセミナーについては、検討に検討を重ねた結果リアル開催しているが、感染の恐怖の中、自らの教育委員としてのミッションをこなしていただき感謝申し上げます。本日は、ここまでのコンサルティングコースセミナーの状況、新たに対応が必要となった科目3のWEB講義の流れ、感染状況によるセミナー開催可否のガイドライン等について、もう一度委員間でしっかりと共有したい。本来教育委員会は年4回であり、正式な委員会としては次回は来年2月であるが、今回臨時教育委員会を開催させていただいた。その理由は、今のこのコロナ禍でのコンサルティングコースセミナーの運営について重点的に委員間で共有したいということ、また、12月から始まった2021年度4月開講の募集に関しても各委員の現場で様々な意見が出ていると思うので自由に意見交換をしたい、ということである。WEB開催でなければ休憩時間や終了後などざっくばらんに意見交換できるチャンスがあるが、WEBだと効率的ではあるが必要最低限のことしかできないので、本日は可能な限り自由に意見交換できるようにしたい。

3. 小田島副会長挨拶

コンサルティングコースセミナーの準備から運営、そしてその後の情報共有まで委員会の中でしっかりと行っている皆さんの姿勢、やり遂げる力に感激している。また、日頃のダイレクトのやり取りや委員長の話から、資格取得を目指している全国の受講者に対して皆さんがどれだけ支えになっているかも承知している。今皆さんが行っている感染防止対策のノウハウは別の場所でも活かせるのではないかと。例えばお客様がこういう課題に取り組んでいるときに一緒に相談にのってあげられるくらいの力をつけてきているのではないかと。代協の委員会の活動はもちろん委員会や会員のためでもあるが、自身の本業にもつながればよいと思うので、是非いろいろな場でその力を披露してほしい。日本代協アカデミーも徐々に数字が増えており、来年4月開講のコンサルティングコースの申し込みも順調に推移している。これらは皆様の尽力であること承知しており、できるだけ各地に皆さんの活動を知らせたいと考えている。WEB会議では、言いたいことが本当に伝わったのかと思悩むことも多いと思う。こういう状況がまだ続きそうではあるが、自分から相手に伝える力、また相手のことを受け取る力を高めながら、皆さんとこの活動を一步一步進めていきたいのでよろしく願いしたい。

4. 損害保険大学課程の運営(報告)

(1)11/16 合同運営会議

雨宮副委員長から、次のとおり報告があった。

- ・損保協会から11月5日の東京でのセミナーモニタリング状況として、運営面・講義内容とも問題なく運営されており、特にコロナの感染対策について概ね十分な感染対策措置が取られていたとの評価があった。
- ・教材について、科目3の動画教材は現在DVDで作成しているが、今後Vimeoというサービスを活用して配信することを検討しており、セキュリティ上の問題が解決出来次第導入する旨報告した。
- ・セミナーの運営方針として、会場におけるコロナウイルス感染防止策基準、科目3のWEB講義、開催延期基準、クラスター発生時の対応等について報告した。
- ・損保協会から、トータルプランナー認定授与式中止に伴う代替措置として、協会長ビデオメッセージ、金融庁保険課長メッセージを専用ページに公開すること等を予定しており、対象者には別途メールで案内する旨報告があった。意見交換の中で、認定者に交付するための各代協による認定バッジの団体購入、認

定バッジ購入画面の改善、顔写真入りカード型認定証の検討について要望した。(団体購入についてはその後実現済)

・認定バッジの販売状況が伸び悩んでいるが、日本代協から要望して作製することになったものなので、団体購入も契機に購入促進を図ってほしい。

(2)2020 年度「コンサルティングコースセミナー」の開催状況等について

セミナー実施状況について

これまでに開催されたセミナーについて、石川委員長が理事会等で報告した資料に基づき、関係各委員から報告があった。

【東京】

会場の規定で一つの机に一人着席であったが、声が聞きづらいとの感想があった。出席率は通常どおりだった。感染防止策チェックリストについては万一のためにもしっかりとした対応が必要である。

【上信越】

感染防止策チェックリストを忘れた方が多かったため、記入スペースを設けるなど工夫した。会場が 12 階だったため窓が開けられず、換気も柔軟に行った。当日の運営に加え、前後の照会対応が大変だった。

【北海道】

コロナ感染急増のため開催前の照会対応に苦労した。当日の運営という点では、会場のホテル自体の感染対策が良かったのでスムーズに運ぶことができた。科目3の WEB 講義について、昼休みに準備はしたが実施する前に 1 科目あるので、非常に不安があった。

【北陸】

受付は概ねスムーズだった。会場(ホテル)の感染対策の配慮も良かった。欠席者 2 名のうち 1 名から発熱したと連絡があったが、風邪ということが判明して安堵した。科目3の WEB 講義について、接続に 30 分以上かかり、音声と画像両方でトラブルがあったなど大分苦労した。WEB 講義でない講師でもケーブルを 3 種類用意しているとの話を聞いたが、やはりプロジェクターとの相性があるようだ。事前チェックが重要。

【九州南・沖縄】

熊本会場はワンフロア貸し切りで、スペースも広く天井も高く、運営するにはよかった。前日に厳しい照会もあったが何とか対応した。次回は工事のため同じ部屋が使えないため少し懸念がある。沖縄も大きなトラブルもなく実施できた。科目3は両地ともリアルであったので接続等の心配はなかった。

【北東北】

科目3がリアルだったので接続等の心配はなかった。よって、従来どおりの進行で、丁寧・十分な感染防止対策を施し、無事終了することができた。机一つに消毒液を一つ置くなど工夫した。

【東中国】

会場自体は素晴らしいものだが、感染防止対策はすべて自前でやるという状況であった。スペースも広く天井も高く、ソーシャルディスタンスには十分であった。コロナの関係(県またぎの移動制限等)でスタッフのやりくりにも苦労した。科目3の WEB 講義については、懸念があったため有料で専門業者を雇って対応した。

【東関東】

東京ブロックのセミナーを視察し、アドバイスもいただき対応したため、ほとんどトラブルもなく無事運営できた。換気について意識して行った。反省点としては、受講者数に対して少し機の配置を広げすぎってしまった(スタッフの移動に影響があった)ことがある。

最後に小見常務から、教育事務センターから発信するセミナーの受講者あて案内メールに、セミナー出席はあくまで各自判断であることやセミナー代替策等の検討状況等について追記した旨報告があった。

セミナー運営について

雨宮副委員長から、第 1 回セミナー進行表等および 6 月 24 日のオリエンテーション時配付資料「コンサル

ティングコースセミナー開催・運営要領」等に基づき説明があり、セミナー運営の詳細について改めて共有・確認を行った。また、WEBセミナー活用の検討に係る現在の状況について報告があった。

続いて、次のとおり質疑応答を行った。

・講師への事前メールは3人すべてに送る必要があるか。講師のアドレスは？

3人すべてに必要な。アドレスは既に提供しているが、念のため本日改めて連絡した。

・スタッフについて、コロナの影響で代理店として県を超えた活動ができないとして、会場に行くことが難しいという方がいるがどうしたらよいか。

ブロックの正副会長会議で相談してみる。

・欠席の連絡が自分入ったがどうすればよいか。

欠席については、本人が対応する(変更等)のが基本である。欠席の方で今年度受けずに来年度受け方については、専門コースの資格期限切れに注意が必要である。

・受講中の電話使用に係る対応については、1回目は注意で、2回目以降は欠格という理解でよいか。

そのとおり。

(3)2021年度「コンサルティングコース」の募集について

受講勧奨の積極的推進

丹野副委員長から、次のとおり報告があった。

・募集ツールの配付について、元々のルールは紙媒体でのツールは代協からしか提供していない(損保協会からは電子媒体のみ)ので、必ず代協経由で紙媒体を届けるということになっている。

・過去に、日本代協から各代協に募集ツールを送った後、配付せずそのまま保管していたという事例や、保険会社から紙媒体ツールを受領していないという声があった事例などがあつた。そのため、保険会社に配付した際には、日時・手交者・受領者を記録して、漏れのないようにするというようにしている。

・コロナの影響で持参出来ないという場合には、郵送して記録を残してもらえればよい。

続いて、各地における募集勧奨の現在の状況について、委員から次のとおり報告等があつた。

・会議がWEBなので、すべてオンライン上での伝達となっている。損保協会支部から保険会社には来ないでくれと言われている(1月中旬以降に調整予定)。

・損保協会支部と連携して、損保会の席上で各支店長に募集勧奨を行った。その翌日に各保険会社を回ってツールを配付した。ポスター貼付場所について、是非目に入る機会の多いエレベーター近辺にとアピールした。各支社にも貼ってもらうようお願いした。

・目標値100%を目指して頑張っているが、それを超えた場合は上限等をどのように考えればよいか？

6月～7月の検討で、今年度リアルセミナーが次年度に持ち越しになった場合には上限を考えないといけないう状況であったが、現時点では、すでにリアルセミナーを開催しているので、特段の上限を考える必要はない。万が一、今回過去最高の受講者数になるような状況になった場合には、状況を踏まえ改めて連絡する。

・目標値検討の際には、コロナというイレギュラーな状況に鑑み、前年度と同じでよいのか懸念があつた。

・昨年と同様に受講申込者のリストをいただきたい。

承知した。どのように提供するか、昨年の状況も踏まえ改めて連絡する。

受講申込状況

小峯部長から、直近の受講申し込み状況に関して、秋田・埼玉・福井が既に目標値の50%以上を達成している旨、また昨年同日比で受講者数が増えている状況である旨報告があつた。

最後に、石川委員長出演の募集勧奨動画を視聴した。

5. PT 関係(報告)

石川委員長から、PT の状況等について次のとおり報告があった

- ・本来年4回の教育委員会の他にPTとしての活動を活発に行う予定であったが、委員会自体が全てWEB開催であり、加えてコロナの関係もあり、なかなか活動できない状況になっている。
- ・さらに今年度は日本代協アカデミーに係るPTが複数立ち上がっているが、これらのPTは従来のようにこれだけをやればよいというような明確な目標というものがなく、体制整備のように終わりのない検討が必要なものであり、各PTリーダーには苦勞を掛けている。
- ・本日はPTの目的を改めて確認・共有するので、検討を進めてほしい。

続いて、石川委員長からPTの目的・ミッションについて説明があった後、各PTリーダーから、今後の進め方等について、次のとおり報告があった。

(1)アカデミー推進PT(中村リーダー)

- ・ID登録数は順調に増加している。とはいえ目標には到達していないので、ブロック協議会等で興味を引くコンテンツの話をして何とか使ってみてくれるようお願いをしているがなかなか見てもらえてはいない。PTでアイデアを募って対処していきたい。
- ・システム関係であるが、管理画面が変わった。当局監査でもなければあまり関心はないかもしれないが、お知らせ一覧に掲載されているので一度閲覧して頂ければと思う。また、履修頻度の関係から確認テストも増えている。

(2)アカデミー教育コンテンツPT(古瀬リーダー)

- ・新人の人材育成に係るコンテンツを作成したいということはまとまっているが進め方を検討しているところである。日企社や代協アドバイザーの力を借りて進めていきたい。

(3)アカデミー情報提供コンテンツPT(丹野リーダー)

- ・PT設置以来これまで6回のアンケートを実施した。当面の課題は、アンケート結果から抽出した好取組事例の代理店を取材し、それをアカデミーのコンテンツ作成につなげることである。
- ・来年1月に第7回アンケートを実施するので、近々テーマ(アンケート内容)を決定する必要がある。

(4)損保大学課程カリキュラムPTの状況(雨宮リーダー)

- ・テキスト作成、受講ノート、確認テストの見直しをしており、鋭意対応中である。
- ・講師打合せについては、今年はWEBでの打ち合わせになると考えている。
- ・科目3のDVDのVimeoによる配信への変更、その内容変更等を行う。
- ・セミナーのWEB化検討に関して、損保総研にヒアリングを行った。運営側のスキルが必要であること、最初のうちは問い合わせ窓口が必要であること等についてアドバイスがあった。また、今始めるのであれば失敗も許されるが、これが1年後・2年後となるとできて当たり前となり失敗すれば非難的となるので、やるのであればなるべく早く対応した方がよいとのことであった。従って、スピード感も持って進めていきたい。

最後に、小田島副会長から、次のとおり総括があった。

- ・実施したセミナーを振り返って、会場や地域毎の違いから新しいヒントを得たと思う。コンサルティングコースについて、本日改めてしっかり説明を受け、細やかな目線で共有でき大切な時間だったと思う。なぜ大切かということや、何につながっているかということも説明があり各自納得できたのではないかと。また、今年の募集勧奨について、例えばポスターの掲示場所やチラシの手交方法など過去の体験に根差したアイデアが共有できたことも良かったと思う。是非今後ブロックの委員等と情報共有してほしい。組織の活性、代

協の魅力向上など、それぞれの委員長が毎日がんばっている。皆さんも石川委員長と一緒に教育の柱を支えて進化させていくという役割があるので、自身の会社の業務も多忙とは思いますが、健康に十分注意して頑張してほしい。

〔次回開催〕

第4回委員会 2月3日(水) 10:30 ~ 17:00

以 上